

『孟子』性善説・四端 確認テスト（漢文） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1 孺子（じゅし）。幼い子ども・幼児のこと。

問2 ア・イ・エ（本文が否定する三つすべて）。本文では「父母に内交する（＝親しくなる）ため」「郷党朋友に誉を要む（＝ほめられる）ため」「其の声を悪む（＝泣き声を嫌った）ため」ではない、と述べる。ウ「礼金を得るため」は本文に直接の記述がなく、これも見返りなので動機ではないが、設問は「本文中で否定されている動機」を問うているためア・イ・エを選ぶ。とっさのあわれみは打算ぬきで自然にわき起こる、というのが要点。

問3（例）自分や他人の不正・悪をはじ、にくむ心。「羞」＝（自分の悪を）はじる、「悪（お）」＝（他人の悪を）にくむ。

問4（例）（へりくだって）他人に譲る心。謙遜してゆずり合う心。

問5（例）善悪・正不正を見分け、判断する心。

問6 (1) 仁 (2) 義 (3) 礼 (4) 智。すなわち、惻隠＝仁の端、羞悪＝義の端、辞讓＝礼の端、是非＝智の端。「四端」が「四徳（仁義礼智）」の芽生えである。

問7 人に忍びざるの心／（人の不幸を）見過ごせない心。「忍びざる」は「忍ぶ（耐え忍ぶ・見過ごす）」の打消で、他人の苦しみを平気で見ていられない心を表す。

問8（例）他人の不幸を見過ごせないいたわりの心。〔＝同情・思いやりの心〕

問9（例）今、人がふと、幼い子どもが今にも井戸に落ちようとするのを見ると（の意）。「乍」＝とっさに、「將に～んとす」＝今にも～しようとする、の再読文字に注意。

問10 読み＝たちまち（に）／意味＝とっさに・ふと・思わず。突然そうなるさまを表す。

問11 人に非ざるなり。

問12（例）あわれみの心がないのは、（もはや）人ではない。「惻隠の心無き（者）は、人に非ざるなり」と補って訳すとよい。

問13（例）芽生え。いとぐち。始まり。〔四徳が生まれ出るはじめの部分〕

問14 四体（したい）。＝両手両足、からだ。

問15（例）四端は、手足が生まれつきからだに備わっているのと同じように、人に生まれつき具わっているものだ、ということ。

問16 充たす（擴めて充たす）。四端をおし広げて十分に發揮していくことのたとえ。火が燃え始めて広がり、泉がわき始めて流れ出るように、はじめは小さい四端も育てれば大きく発展する。

問17 (例) もし (この四端を) 十分に発揮できれば、天下を安んじ守るのに十分である。「苟くも」=もし、「四海を保つ」=天下を平和に保つ。

問18 イ。打算のない「怵惕惻隱の心」が誰にでも自然にわき起こることを示し、人には生まれつき善い心 (四端) が具わっていることを証明するため。

問19 性善説。人の本性は生まれつき善であるとする孟子の主張。

問20 (1) 孔子 (2) 戦国時代。孟子は孔子の思想を受け継ぎ、「亜聖」とも呼ばれる。

問21 荀子 (じゅんし)。「性悪説」を唱え、後天的な礼による教化を重んじた。孟子の性善説と対比される。